

【6月補正予算の基本方針】

- ① 5月5日の能登地方を震源とする地震からの復旧・復興
- ② 国の追加物価高騰対策を踏まえた更なる物価高騰対策

6月補正予算について

■事業者の被災額別の割合

[単位：百万円]

[単位：百万円]

被害額	R 5地震		
	件数	割合	被害総額
300万円以下	311	67%	245
300万円以上	153	33%	3,193
合計	464	100%	3,438

被害額	R 4地震		
	件数	割合	被害総額
300万円以下	255	97%	22
300万円以上	7	3%	47
合計	262	100%	69

※珠洲市被害額は3,434百万円（被害額の99.9%）

- ・今回の地震による事業者の被害額は約**34億円**
- ・**1件あたりの被害額が300万円以上の割合が**昨年の地震時と比較して**増加**

このほか、宿泊施設のキャンセルが県下全域で約2万3千件

（能登地域：約1万5千件、その他：約8千件） ※5月19日現在

地震による被害が甚大な珠洲市内の復旧支援を加速するため、ボランティアを募集し、県庁～珠洲市間でボランティアバスを運行

【実施主体：（公財）石川県県民ボランティアセンター】

1 ボランティア活動の概要

- ・ 活動期間：令和5年5月26日（金）～31日（水）
- ・ 募集人員：各日20名程度（18歳以上の県内在住者※）
- ・ 活動内容：破損した陶器類等の片づけ、家財の運び出し、運搬など
- ・ 参加申込方法：県ホームページから申し込み



<申し込みはこちらから>

※珠洲市社会福祉協議会のボランティア募集は、2市2町（珠洲、輪島、穴水、能登）が対象

2 バスの運行日程

- ・ 活動期間の6日間（5/26～31）、毎日運行
各日とも県庁発 7時30分 着18時30分

カーボンニュートラルに向けた主な取り組みについて



本県は、家庭・運輸部門のCO2排出量の割合が全国よりも高く、カーボンニュートラルに向けて、県民一人ひとりの「実践」が重要

1 ①新いしかわ省エネ家電購入応援キャンペーン

申請数 1,126件
(5/19現在)

- 省エネ家電の購入者に対し、キャッシュレスポイントを付与
品目に応じて5,000～40,000ポイントを付与【4/28～開始】

対象5品目は
全国最多



2 ZEH等の普及促進 (R4.10月 制度開始)

R4申請数 237件
(10/7～3/31)

- 省エネ・創エネ住宅の新築や既存住宅の省エネ改修に対して助成
ZEH:20万円、準ZEH:10万円、開口部リフォーム:5万円

ZEH等の建設割合が増加

ZEH等/住宅建設数
R2 約14% → R4 約18%※
※制度開始以降の実績

3 電気自動車等の普及促進 (R4.7月 制度開始)

R4申請数 371件
(7/8～3/31)

- 電気自動車等の購入に対して助成。住宅の充電設備にも拡充
EV・PHV : 10万円、FCV : 50万円、①新住宅用充電設備 : 2.5万円 (R5～)

EV等の台数 約10%増加



5月30日から野々市市を皮切りに、
12月10日まで全19市町で県内縦断コンサートを開催

<今回の特徴>

- ・アーティストック・リーダーの広上淳一氏が「おらが町のオーケストラ」となることを目指し、多くの市町（19市町のうち13市町）に自ら出向いてコンサートを開催
- ・珠洲市は 6月10日（土）
広上氏参加のもと「ラポルトすず」で開催



県営住宅団地への学生入居のモデル実施について



- 県営住宅団地では、入居者の高齢化が進展、自治会活動の維持、活力低下が課題
- 本県には多くの大学が集積
- 県営住宅への学生入居についてモデル的に実施



対象団地：平和町団地 2戸

間取り：3DK

入居条件：自治会活動への参加 など

対象者：県内大学の在学生

【スケジュール】

7月入居者募集、8月以降入居開始

⇒ 住民と学生が自治会活動などで交流
団地の活性化、コミュニティの維持